

駒場松桜会会報

第84号

2009年4月1日発行
(財) 駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内
TEL/FAX
03-3466-7579



初の子ども向け作品『サンタクロース会議』撮影：青木司

心を鍛えるのが、演劇の役割

「頭を鍛える」のが学問、「体を鍛える」のが体育であれば、同様に「心を鍛える」教育が子どもの頃から必要です。先進国で演劇を教育に取り入れていないのは日本ぐらいだと思います。

(08年12月29日駒場エミナースにてお話を伺いました。)

平田オリザ 1978年定時制入学

■16歳で中退して世界一周旅行へ
79年5月から80年9月まで1年半かけ、18歳のときに世界一周旅行するまでの半年間で最初の復学するまで、高校進学はあまり考えていなかつたのですが、いろいろ研究するうちに高校生の方が学割がそれなり有利だとということと、それに親も説得しやすかつたので定時制にしました。

旅行が好きで、中学に入ったときに旅行の最後は世界一周だな」と思いました。とにかく外国にすぐにも行きたかったのですが、費用を稼ぐ必要がありました。しかし、当時、中卒ではなかなかアルバイトが見つからず、新聞配達を10ヶ月ほどやりました。リバーラルな家庭で、私が働くことに特に反対はありませんでした。

当時、高校進学はあまり考えていなかつたのですが、いろいろ研究するうちに高校生の方が学割がそれなり有利だとということと、それに親も説得しやすかつたので定時制にしました。

■自然に駒場高校へ行くことに

生まれも育ちも駒場なので、ごく自然に選びました。駒場幼稚園、駒場小学校、目黒一中、そして駒場高校に進んだのですが、定期試験を選んだのには理由があったんです。

というのも、ずっと自転車旅行が好きで、中学に入ったときに旅行の最後は世界一周だな」と思いました。とにかく外国にすぐにも行きたかったのですが、費用を稼ぐ必要がありました。しかし、当時、中卒ではなかなかアルバイトが見つからず、新聞配達を10ヶ月ほどやりました。リバーラルな家庭で、私が働くことに特に反対はありませんでした。

だからためしのない勇気が到達した最後の点と、到達した極限とを明らかにして、上々の首尾にいたった世界一周自転車旅行の冒險をするす本』(晚聲社 96.6)

を出しました。世界一周旅行の中でいろいろ学びましたが、大学に行こうと思ったのも旅の途中でした。ただ、普通に卒業してから大きく自然に選びました。駒場幼稚園、駒場小学校、目黒一中、そして駒場高校に進んだのですが、定期試験を選んだのには理由があったんです。

というのも、ずっと自転車旅行が好きで、中学に入ったときに旅行の最後は世界一周だな」と思いました。とにかく外国にすぐにも行きたかったのですが、費用を稼ぐ必要がありました。しかし、当時、中卒ではなかなかアルバイトが見つからず、新聞配達を10ヶ月ほどやりました。リバーラルな家庭で、私が働くことに特に反対はありませんでした。

当時、高校進学はあまり考えていなかつたのですが、いろいろ研究するうちに高校生の方が学割がそれなり有利だとということと、それに親も説得しやすかつたので定時制にしました。

■演劇を始めたきっかけ

ひとつには、身内や親戚に演劇関係の人多かつたことだと思います。子どもの頃から何となく自分では物書きになると思つていたのですが、大学に入つてから人として生きていますが、それを「演じている」という感覚はありません。

問題や事件を起こした人たちの中には、子ども時代に「世間的によい子を演じるのが疲れた」という人が少なからずいます。つまり、「よい子を演じるのに疲れました」ということです。

普通、大人は社会的な関係の中でいろいろな役割を演じ、これが苦しいと思わずに使い分けながら人として生きていますが、それを「演じている」という感覚はありません。

現在は、演劇作家という立場から、大阪大学でコミュニケーションを教えていますが、外国人、高齢者、障害を持つ人々とワークショップをやつて、そこで自分も協調性について多くを学びました。また、それを大学の授業にも活かしています。

それまで作家という一人です仕事をしていて、多くの人と関わることもあります。



平田オリザ

劇作家、演出家
大阪大学大学院教授

ですから大人は、問題のある子どもに「よい子」を演じなく

ても良いと言つてしまいがちですが

が、実際は社会が「よい子」を要求しているので、「よい子」にならうとしていた子どもは混乱してしまいます。

つまり、そのような子どもに對して「よい子」を演じなくてよいというのではなく、「よい子」を演じることに疲れない、楽しむ子どもを育てなければいけないと考へています。

子どもたちに演劇を教える一番の意味は、自分をTPOで演じることのできる子どもを育てるということです。

そのとき、笑つたり、泣いていた人もいました。恐らく人類史

上初めての体験だったかもしれません。最後のほうにロボットだけのシーンがありました。

そのとき、笑つたり、泣いていた人もいました。恐らく人類史上初めての体験だったかもしれません。最後のほうにロボットだけの「感心」させるだけのロボットから「感動」させるロボットになることができた瞬間でした。

家庭でも職場でも社会生活全般で大事なことに「責任」とい

うものがあります。この責任は「役割を分担すること」だと思いますが、その役割で何を演じる

のかわからなければ「責任」も果たせないということです。

最近は、おままごとができるない子どもが増えているそうですが、これは少子化と核家族化の問題があると思います。これは現代社会では避けて通れないものです。

たとえば、私が教っている医学部の学生にはお年寄りと同居していない人がほとんどなので、20代半ばまで身近な死を経験せざるを得ません。しかし、それは家庭に育っているので仕方がないし、そういう社会を作ってきてしまったためでもあります。

コミュニケーションは、学校でコミニケーションは、学校で



「働く私」 作・演出：平田オリザ

減つてきている状況があります。

そのような状況にあっては、「遊び」という「演劇」を教えるシステムで補っていくのが大事な教育の責任ではないかと考えています。

■「心教育」としての演劇

初等中等教育で「演劇」という授業がないのは日本だけですが、これをやらなければ国際競争力も持てないと思います。

演劇という表現教育がイギリスで取り入れられたのは、意外にも戦後のことです。戦後、植民地を失つていく中で人々がイギリスに戻つてきて国内が多国籍化していったこと、そして産業構造の変化もあってコミュニティが崩壊していくのです。そのときに、良き市民となるための教育として表現教育（市民化教育とも呼ばれてます）として演劇を学ぶことが有効ではないか、ということ

で始まつたのです。

世界一の教育大国と言われているフィンランドでは、教育改革は90年に始まつたばかりですが成功しています。人口が400万人しかいないから可能だったとも言わわれていますが、もしそうならば、日本では教育の地方分権を進めなければできないことだと思います。

プラトン以来、教育によって頭と体と心を鍛えなさいと言われてきているのに、それが揃っていないのが日本の教育の欠点だと思います。

大学というものは、知の蓄積を社会に還元するという責務があります。たとえば、大学病院を持っています。たとえば、大学病院を持つことで、大学に蓄積された知識やネットワークを活かして、その地方の健康に責任を持つています。

それと同様に大学が芸術に関する知識やネットワークを活かして劇場や音楽ホールで良い公演をしていくことで、その地方の

体と芸術活動を共にすると単位を取得できるようなシステムを

取り入れるのも良いのではないかで

しょうか。駒場ならばその環境が十分に整つていると思います。

松桜会がつくつた駒場幼稚園は、私も関わっており、劇が大変に盛んです。

一方、私が教っている国立大阪大学は合併して学生数が4万人という大きな総合大学です。ところがそこには劇場も美術館も音楽ホールも無いのです。これは大阪大学に限らず日本の多くの大学でもそうです。

これは学生に、頭を鍛える教育には教室、体を鍛える教育には運動場や体育館、プールがありますが、心を鍛える場がない

ということなのです。アメリカの州立大学で劇場のないところはありません。

心を鍛える芸術である演劇を盛んに

これからは、これがまた、大阪大学でもそうです。

これは学生に、頭を鍛える教育には教室、体を鍛える教育には運動場や体育館、プールがありますが、心を鍛える場がない

ということなのです。アメリカの州立大学で劇場のないところはありません。

心を鍛える芸術である演劇を盛んに

していけることが目標の一つです。

頭も体も心も鍛えるのは自発的にしなくては始まります。

駒場高校では演劇部が全国大会に出るほど演劇が盛んですね。

アメリカのように地元の劇団に入つて半年間で一本の劇を作る芸術の振興に責任を持つよう



平田オリザ氏 略歴

79年 自転車による世界一周旅行を決行。

79年 国際基督教大学教養学部人文科学科卒業。こまばアゴラ劇場支配人。

79年 「東京ノート」で、第39回岸田國士

95年 戯曲賞を受賞。

99年 桜美林大学文学部総合文化学科助教授。

03年 02年日韓国民交流記念事業「その河を越えて五月」が、第2回朝日舞台芸術賞グランプリを受賞。

06年 大阪大学コミュニケーションセンター教授。

05年 モンブラン国際文化賞を受賞。

同年 同年

『仰光寮』誌が

縁でご来訪

11月17日、仰光寮ゆかりの方々が昭和8年10月6日の落成式以来、75年ぶりにお見えになりました。

香淳皇后甥御様、姪御様方でいらっしゃる久邇家当主、久邇邦昭ご夫妻、お妹（酒井通子）様、義妹様方です。

「お花御殿の話は聞いておりましたが、保存いただき大変嬉しいです。」と熱心にご覧になりました。見学後、校長室で和やかにご歓談いただきました。



酒井通子氏



神社本庁統理の久邇氏と小杉元理事長

記念誌『仰光寮』は、まだ在庫がございますので、事務局までお問合せください。

700円（送料込）にて頒布いたします。（B6変形、130頁）



仰光寮お玄関で



久邇氏と初見校長



桑原 泰子

阿部 千枝子

藤原 明子

同窓生 spirit

藤原明子（旧姓工富）さん（D34）は5姉妹全員が同窓生で、長女の桑原泰子さん（D20）は俳句をたしなまれ、句集「花篭（はなかがり）」を出版されました。2年前の百壽のお祝いには会場まで電車で来られるほどお元気です。次女の阿部千枝子さん（D27）は豊かな向上心でいろいろな方面で活動され、03年には工富家のルーツの自分史を出版されました。ご家族からは「出たきり老人」といわれるほどお元気に活動されている四女藤原さんは米寿を迎えるましたが、旺盛なる好奇心でいろいろな松桜会講座や毎月のコチロンにも参加して素敵なお年齢を重ねていらっしゃいます。

ページを開くと一人一人の特徴のある字と文章に、セーラー服の笑顔が浮かんできます。そして懐かしい麻布の校舎が、教室が、お山の運動場がはつきりと思い出されるのです。その頃満州事変もはじまって世の中は大変だつたのですが、私たちはのんびりと学校生活を楽しんでいたような気がします。

桜が咲けば新入生の歓迎をかねてお花見会、花の下でお弁当を開き、学校からは柏餅を下さいました。あんこが二つ、味噌餡が一つ、それが全部おなかに入つたから不思議です。

入学式に新入生を迎える歌、「君をわれはいよ咲く 花に寄せて迎へばや かたみ（互）にこれより かぐはしき心持ちて交はらん」なんと素敵な言葉でしょう。二番は、「月に寄せて」と歌います。私はこの歌が今でも大好きです。

一年生の秋、忘れられないのは仰光寮の落成式です。このときめぐり合えて幸せだったと後になつて思います。冬、寒い時は皆で輪回しをしました。今の方は知らないかも知れませんが、鉄の輪を先の曲がつ

私が大事にしている宝物の小さなサイン帳が二冊あります。それは第三高女の本科と高等科を卒業した昭和十三年と十五年、別れを惜しんでお友達に書いていたものです。何回もの引越しさにも空襲にも無くさず、一番の思い出の品になりました。

これがとても楽しみでした。先生が何時ものになるのでお氣の毒、雪まみれで逃げていらっしゃいました。

五年の二学期は講堂に集まつて傷痍軍人の白衣を縫いました。硬い布なので指が痛くなり大変でしたが皆一生懸命でした。そのため二学期は試験もなくて通知表もつきませんでした。

そうして卒業、高等科へ進みました。当時第三の高等科は人気があり他校からの希望者が多くて、その年から一クラスになりました。

二年間でしたが充実した勉強をさせていただきました。万葉集、源氏物語・論語等古典の面白さを知り、難しい裁縫は後に孫たちに次々着せる着物を縫うとき役立ちました。社会見学も毎月のようにありました。

でもこの頃だんだん物資は不足し戦争の波は押し寄せてきました。先生方も私たちの家族も召集され暗い中でも「紀元は二千六百年」と歌いながら高等科を卒業したのです。

集い 開催！ 2009年6月13日（土）

年の献身的
今年は今後
集いにした

午後2時受付 午後2時30分～5時

校内見学 午後1時（母校正面玄関集合）

総会 午後2時30分～3時

懇親会 午後3時～5時

会場 こまばエミナース ダイヤモンドの間

会費 5千円（未成年2千円）

会費は、当日受付でもお支払いいただけますが、同封の振込用紙にてお願ひいたします。なお先生方はご招待になります。



駒31
大野(鈴木) 陽子

■新しい発見があるかも！

私は駒31、母は駒5の卒業生です。母から谷間と称する広い草原の話など聞いていた私は、その谷間で一流の陸上選手の走り方を見て感動しました。校庭や林や仰光寮を見ながら、校舎から遠く離れた谷間のテニスコートに着くまでに、気分を変えることもできました。クラス替えがなかった私たちは、今も付き合いがあり、クラスのメーリングリストもあります。

そんなある日、友人の一人が、我が子を入れたい学校について「駒場のように広い敷地があって、設備があって、のびのびと過ごせないと…高校の友達が一生の友達になるかもしれないから、友達って大事よね。」と言いました。

私も全く同感！駒場をベースにした共通の価値観がこんなところにあったなんて！卒業して20年以上経ってからの嬉しい発見でした。

久しぶりに見た学校は相変わらず広く、木々に囲まれ、素晴らしい設備があり、そこに昔の私たちのような後輩がいました。皆様！同窓生ならではの新しい発見を期待して、ぜひ集いに参加いたしましょう。



駒41
小宮 若奈美

■駒41「アラフォー」世代のみなさんへ

駒41のみなさんお元気ですか？駒場の人たちと会っていますか？私は定期的に駒場メンバーで会って、飲んで、食べて、騒いでいます。また、大晦日は必ず同級生のやっているお店に集まって「年越し蕎麦」をみんなで食べています。高校時代のように会いたい時にいつでも会える、とはいきないけれど、会えればいつでも“あの時”に戻れて元気をもらえる…こんなにかけがえのない仲間と出会えた駒場に感謝！です。

めまぐるしい毎日を追われて、気が付くと駒場を卒業してから20年。早いものです。実は、私は今回友人に代わって書かせていただくことになり、初めて「同窓の集い」を知りました。一体どんな方たちがいらっしゃるんだろう？きっと最初は誰だかわからない人もいるかもしれないなとか、連絡先がわからなくて会えなかった人とも久しぶりに会えるかも‥なんて、考えると楽しくなります。

第3回 駒場松桜会・同窓の集い

装いも新たに再出発した「駒場松桜会同窓の集い」も今年で3年目を迎えました。過去2回の「同窓の集い」は担当幹事学年働きと会員の皆様方の暖かいご支援で、いずれも300名を越える会員の皆様がお集まりになり大変な盛り上がりでした。に繋げる意味でも勝負の年です。担当幹事学年は駒21、31、41回の方々です。これまでの経験を生かし、より素晴らしいと張り切って準備を進めています。好評の校内見学もこれまで通り今年3月卒業の新入会員の案内で行います。

さあ、参加してみませんか「同窓の集い」!!



駒21
矢部一

■還暦の前に逢いたい

本来、21回の代表幹事は渡辺恵子(富永)さんでしたので、今回の同窓会の件を連絡させていただきました。ところが、私たちの年代に共通した問題なのでしょうか、ご主人の仕事の関係と双方のご両親の介護が重なって日本とアメリカを行ったり来たりでとてもお忙しいとのこと。

そのような状況なので今回の同窓会につきましては関わることが難しいようです。そこでほかの幹事の方にとも考えたのですが、同窓会の理事を務めています、矢部が代理をさせていただくことにしました。

21回はどういう訳か修学旅行が妙高登山という、なんとも不思議な期でした。それでも、高校生活をエンジョイしクラス会も活発に行われていると思います。また、同期会もいよいよ来年が還暦のため盛大に行いたいと渡辺恵子さんも張り切っています。

昨年末から不況の嵐ですが、21回は学生運動や大学卒業直後の石油ショックを経験し、打たれ強くしぶとく生きています。同窓会で元気な皆さんと会えることを楽しみにしています。

第10回コチロン合宿開催される



百周年記念行事の一つ、『コチロンを踊る』デモンストレーションを成功させるために、故小貫先生発案により行われた合宿はその後も引き継がれ、08年10月7～8日で10回を迎える予定です。場所は埼玉県嵐山町にある国立女性教育

会館。ここは風光明媚な環境のよい所にあり、宿泊施設も大変清潔で、体育館その他の施設も充実し、参加者から、「ここだから毎年参加するのよ」というご意見が多数ありました。

参加者は事務局員4名を含め33（第三8、駒場25）名で、熟練者から初心者まで教え、教えられ、健康的で楽しい時間を過ごしました。

コチロン合宿のお知らせ

日時 10月6日（火）、7日（水）

場所 国立女性教育会館

〒359-0292 埼玉県比企郡嵐山町荒谷728

電話 0493-62-6723

*詳細は次号でお知らせします。

初心者
大歓迎！



リウ・ミセキ氏 ポスター展受賞

08年夏の三宅島観光ポスター5点が「第50回全国カタログ・ポスター展」にて日本印刷産業連合会・会長賞を受賞。写真家リウ・ミセキ氏（駒16）。「三宅島民にも復興への大きなエールとなったようでとても嬉しい出来事でした」と語っています。この受賞作品5点を同窓の集い、都駒祭で展示予定。是非ご覧ください。

コチロンを踊る会

～初心者大歓迎～

会場 生徒ホール
(変更の場合は掲示します。)

日時 4、5、6、7、9月
月1回土曜日 第3週火曜日
午後2時～3時

駒18回 08年10月18日(土) 渋谷エクセルホテル東急プラネット

ツルームで、とある記念の年齢を祝して開催。末松先生をお迎えし、53名の会となつた。今回初めての方や広島からの参加など、次々のスピーチでにぎやかに盛り上がり、盛り上がる中、これからをさらりとアクトティブに生きるために、まるで情報交換会の感があつた。残念なことは、この会をとても楽しみに心待ちにしていました。福村先生、そしてまもなく善方先生がご逝去、といふ寂しさの年、感慨もひとしお深いものがある。(平山勢津子)



を祝して開催。末松先生をお迎えし、53名の会となつた。今回初めての方や広島からの参加など、次々のスピーチでにぎやかに盛り上がり、盛り上がる中、これからをさらりとアクトティブに生きるために、まるで情報交換会の感があつた。残念なことは、この会をとても楽しみに心待ちにしていました。福村先生、吉田弘安両先生がお出でくださいました。

115名の参加で、恩師は磯部勇、吉田弘安両先生がお出でくださいました。

115名の参加で、恩

生方もお招きして行な

いました。

115名の参加で、恩

生方もお招

きして行な

松桜会講座 のお知らせ(平成21年度上期)

4/11
締切

対象者：駒場松桜会員・母校教職員・PTA会員

申込方法：往復はがきに、①講座名 ②郵便番号・住所 ③電話番号 ④氏名 ⑤会員一卒業年度、
教職員一所属、PTA会員—お子様の氏名・学年・ホーム を記入してください。

○返信はがきには宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき、1枚でお申込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 駒場松桜会事務局

受講料など：第1回の受付時に、記名した封筒に入れてお支払いください。

○講師のプロフィールの詳細は、ホームページでご覧ください。

A

講座

NEW!

講 師
太田淑子（駒3）
キリスト教史学会
理事

近代国家形成期のキリスト教—かくれ切支丹の諸相—

1549年ザビエル来日より鎖国禁教にいたる約1世紀に及ぶ期間を「キリストの世紀」と呼ぶ。この間キリスト教に改宗した日本人は（幼児洗礼を含め）76万人にも達したといわれている。

江戸幕府による徹底した禁教政策により日本の國土からキリスト教は全く姿を消したとされたが、開国によりキリスト教宣教師の再来は密かに先祖代々温存してきた人々の信仰を再燃させた。長崎浦上をはじめ、五島もふくめ5000余の人々が信仰を告白したのである。さらに、近代化を標榜する維新政府は「切支丹禁制」の高札をそのまま掲げ、3000人余の浦上切支丹を西国20藩余にふりわけ、総流罪処置を決行した。

以上の内容について、何故、またどのように約2世紀にわたる年月、切支丹が信仰を温存してきたか、また明治政府の対切支丹政策について話を進めてみたいと思う。

定 員：45名
受講料：2,500円
会 場：東館和室

14時～15時30分
4/25（土）
5/23（土）
6/6（土）
6/27（土）
7/11（土）

B

講座

伝統的日本の篆刻篆書

私は菅原道真公の38代の子孫で代々篆刻篆書を家業秘伝としてきました。伝統のある正統的な日本の篆刻篆書を指導します。特別な力を持つという篆刻篆書の深い意味を秘伝の中から解説します。

用意するもの：書道用具。
印刀、印材（ない方は、申込はがきに記入して下さい。）

定 員：40名
受講料：2,500円
教材費：3,500円
会 場：東館和室

10時30分～12時30分
4/27（月）
5/18（月）
6/22（月）
7/21（火）
8/24（月）

Special 講座

楽しいコチロン が変わります！ 詳細は5面をご覧ください。

気功の魅力

今回教えていただいた氣功は、太極拳に動きがわったようなものです。この講座は定員オーバーの人気でしたが、先生が熱心に明るく教えてくださり、私たち受講者もゆつたりとした雰囲気で楽しく身体を動かしました。田巻先生は初めに、「深く呼吸しながら身体を動かすことで、身体を温め、免疫力を高めていきましょう。」と話されました。そして東洋医学に基づき、手や足のツボについても教えてくださいました。

表具氏のお話によれば、本当に良い掛軸にするには、表具師と、様式・生地・色等々を相談しながら作っていけばよいとのこと。今後の仕事の楽しみが、有意義であった。「表具について」という冊子を受講生の各人に配布して下さったが、これも今後参考にできる資料となつた。

「表具の話・掛軸の見方」を受講して

表具久生（駒20）氏の講座は、かねてより熱望していた講座の一つであって、手描友禅染の今後の仕事を考えた場合、自分にとつては実にタイムリーでもあつた。というのも、日頃写生している草花をモチーフにした手描友禅染の掛軸を年に二、三點ずつ制作していくといい、と考えていた時だからである。

近年再発見された江戸時代半ば頃の画家伊藤若冲が京都・相国寺に寄進した「動植綵絵」三十幅の絵画群を、本画集・図録・映像などによつて、幾度も見、感銘と刺激を受けたからである。

さて、講座には、大変貴重な資料や大量の道具類を毎回御持参下さり、それらを拝見したり、また触れさせていただくことも出来たことは、お話しと共に有意義であった。「表具について」という冊子を受講生の各人に配布して下さったが、これも今後参考にできる資料となつた。

（駒18 春木弘雄）

私は冷え性で体調の悩みもあったので、自宅でも教わった動きやツボ押しをいくつか試してみて、最近少し温まってきたように感じて、とても感謝しています。

もつと健康になりたいと思う皆さんにも是非お勧めしたいですが、あんまり人気が出ると、先生がお困りでしまうからです。